

本件問合せ先
（一）全国医学部長病院長会議事務局
TEL 03-3813-4610
FAX 03-3813-4660
Mail info@ajmc.jp

新型コロナウイルス感染症患者 に係る後方施設状況調査結果

令和3年1月19日



一般社団法人 全国医学部長病院長会議
Association of Japan Medical Colleges

後方施設の状況

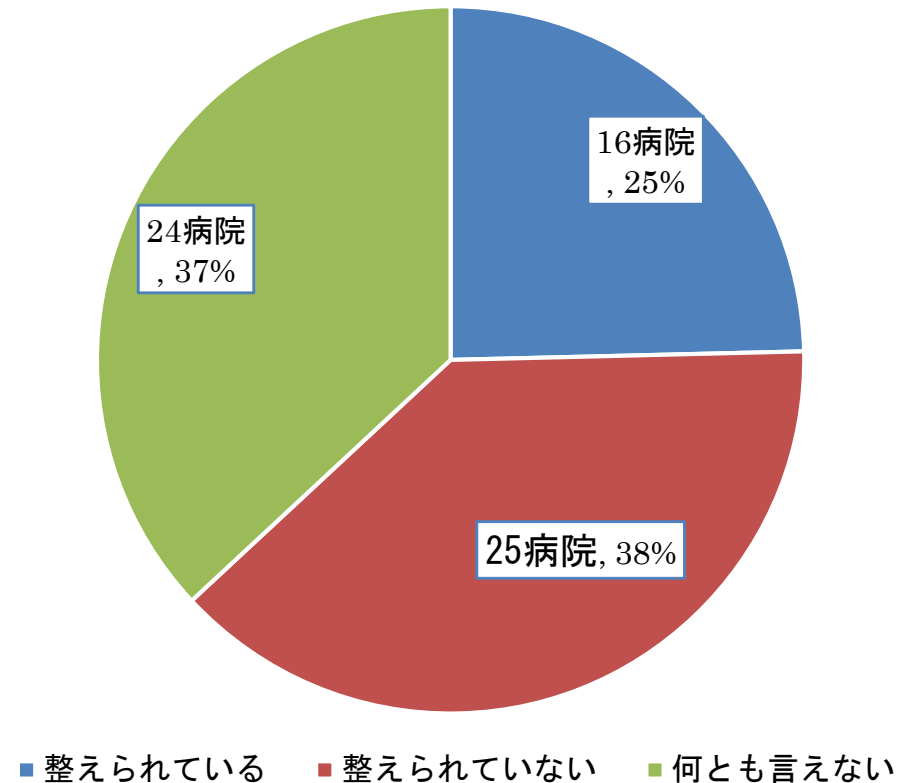
大学病院での後方施設の
整備状況について調査

回答67病院中記載のあった65病院集計

| 後方施設の整備状況 | |
|-----------|------|
| 整えられている | 16病院 |
| 整えられていない | 25病院 |
| 何とも言えない | 24病院 |

後方施設が整えられていると回答した病院は16病院（25%）
整えられていないと回答した病院は25病院（38%）
何とも言えないと回答した病院は24病院（37%）
となっている
何とも言えないの内容としては、
①体制はあるが実態として機能してない部分がある
②受入れ可能数が限られているため機能しない場合がある
③症状によってできない場合がある
など

後方施設の整備状況



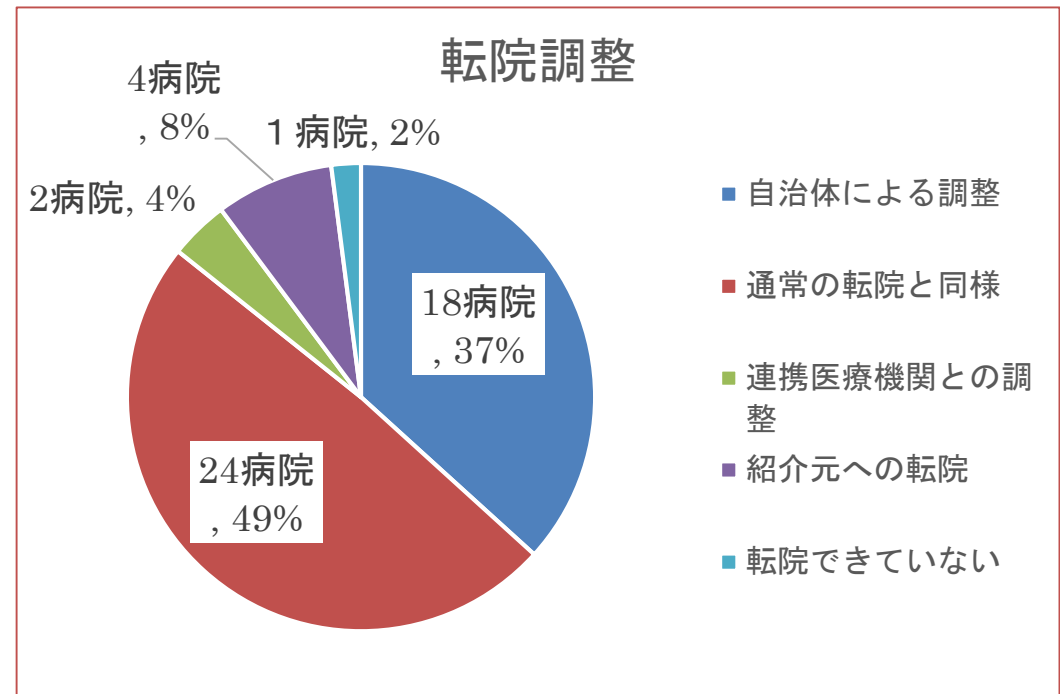
大学病院から後方施設への転院調整

回答67病院中記載のあった49病院集計

大学病院から軽快患者等の後方病院への転院調整の実施状況を調査

| | |
|----------------------|------|
| 自治体による調整 | 18病院 |
| 自病院、主治医による調整 (内訳) | 31病院 |
| 通常の転院と同様 | 24病院 |
| 連携医療機関との調整 | 2病院 |
| 紹介元への転院 | 4病院 |
| 転院できていない | 1病院 |

- ・自治体による調整には、円滑に調整出来ているところと、病院間で調整して自治体に報告等も含まれる。
- ・63.3%が自病院で転院調整を実施



各大学からの主要要望内容

| | | | |
|----------------------------|--------------------------------------|-------------------------|-----------------------------|
| 後方施設の 拡充 | 後方施設の拡充・充実 | 移動手段 | 移動手段の確保が必要 |
| | COVID-19 患者専用のリハビリテーション専用病床の確保 | | 受入要件 の遵守 |
| | 呼吸器装着状態で長期化している患者の転院先確保 | 受入病院の感染管理者と連携室の意思統一 | |
| | 陰転、隔離解除基準を満たした「元COVID-19患者」の受け入れ先の充実 | 啓蒙活動 | 受入れ可能病床数のリアルタイムの把握と運用、システム化 |
| | 要介護者の受入れの拡充 | | COVID-19地域連携パスの作成 |
| | ステロイド治療後の漸減過程の患者や透析患者の転院が困難 | | 患者に渡せる生活に視点を置いたパンフレットの作成 |
| | 酸素、リハビリなどの介助が必要な患者の受入れ施設が見つからない | | 独居者、生活困窮者が罹患した場合の行政支援 |
| 行政での軽快後の転院調整を要望 | 受入機関の改修等に充てる公的支援（財政・ノウハウ） | | |
| 行政の 指導 | 自治体主導による病床の計画的配分が必要 | 地域保健所によるサポート | |
| | 行政による県をまたぐ連携及び資源配分のマネジメント | 後方施設における感染対策マニュアルや指導が必要 | |
| | 自治体におけるあっせん。コントロール調整が必要 | 後方病院の教育・サポート | |
| | 通常患者の救急受入、転院への行政の支援 | | |
| 地域病院間の役割分担の明確化 | | | |
| COVID-19用病床の有効活用ができる仕組みづくり | | | |